

8月30のウクライナ情報

安齋育郎

①ウクライナ・オン・ファイヤー (字幕を更新しました。最終アップデートです。)

※安齋注:原点に戻るために。1時間32分。

<https://youtu.be/twWOyaY-k6o>



<https://x.com/OfficeChael/status/1828596185021718630?s=09>

☆規制が厳しくなっています。パソコンではウクライナオンファイヤーは見ることができないようですが「理解した上で続行する」をクリック⇒早送り三角をクリック⇒左上のWEB ページ戻るボタンをクリックすると見れます。

スマートフォンでは通常通り視聴可能となっています。(4月7日現在)

☆一部過激な映像が含まれております。ご注意ください。

☆続編の「Revealing Ukraine 2019」日本語字幕(乗っ取られたウクライナ)もこちらで公開しております。よろしければご覧ください。 ・ 動画

今は情報戦だと感じています。似たようなタイトルの Netflix の「ウインター・オン・ファイヤーウクライナ、自由への闘い」という映画もありますが、どちらが真実を語っているのでしょうか？ぜひ見比べていただければと思います。

ウクライナ・オン・ファイヤーの説明です。⇩

「初公開:2016年6月16日 監督:Igor Lopatonok プロデューサー :オリバー・ストーン」
2014年、キエフのマイダン独立広場で起こされた暴動は、民主的に選ばれたヴィクトル・ヤヌコーヴィチ大統領を追放するために起こされたクーデターだったのです。

西側メディアはヤヌコーヴィチ政権とロシアを加害者として描いています。しかし、本当にそうだったのでしょうか？

クーデターにより、炎上したウクライナは、2004年のオレンジ革命、2014年の反乱、そしてヤヌコーヴィチ政権の転覆につながりました。

この悲劇を西側メディアは民主主義の革命として大きく取り上げましたが、実際にはウクライナに戦後生き延びたネオナチ民族主義者と米務省によって脚本・演出されたクーデターであったことが知られています。

この様なカラー革命は世界中至るところで起こされています。

それは如何にして起こされて来たのでしょうか？

そのテクニックをオリバーストーンは分かりやすく描いています。

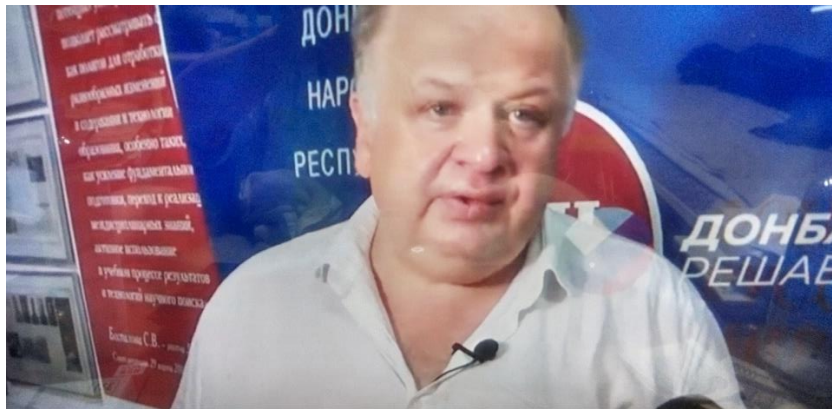
調査ジャーナリスト、ロバート・パリーは、80年代以降、アメリカの地政学的アジェンダを海外で推進するCIAの代わりに行動している、NED 全米民主主義基金についても語っています。

②ネオナチ対策会議(2024年8月28日)

若者の間でネオナチズムのイデオロギーが広がることに対する予防と対策の問題が本日ドネツク州立大学で議論された

この会議には DPR、LPR、ザポリージャ、ヘルソン地域とモスクワ大学の科学者が出席した。

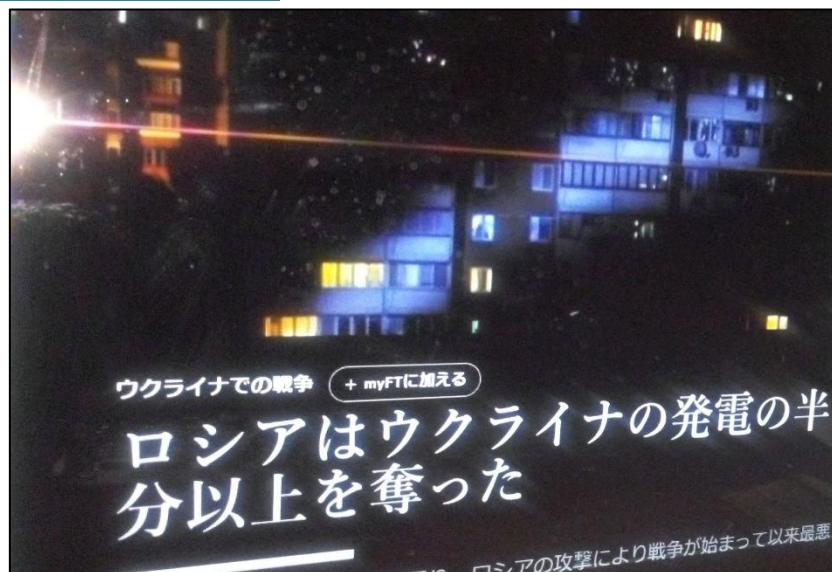
<https://x.com/i/status/1828739128999149573>



https://x.com/zov_vs_nato/status/1828739128999149573?s=09

③【8/28 ロシア・ウクライナ紛争】クルクス侵攻は、またも和平交渉潰しだった？(2024年8月28日)

<https://youtu.be/Axu14Q9pwjc>



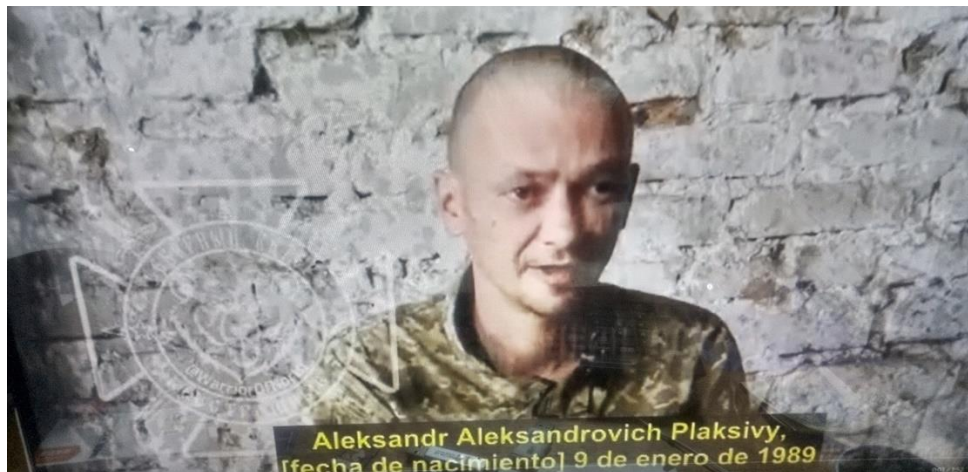
<https://www.youtube.com/watch?v=Axu14Q9pwjc>

④クルスクで捕虜になったウクライナ兵(2024年8月28日)

アレクサンデル・アレクサンデロビッチ・プラクシヴィ、1989年1月9日生まれ。第61独立機動部隊の狙撃手だった。

5月28日、スマホを買いに出かけた。10メートルほど歩いたとき、軍事委員会の車が停まって「乗れ、徴兵登録事務所に行くぞ」と言われた。

<https://x.com/i/status/1828671438737617381>



https://x.com/Kumi_japonesa/status/1828671438737617381?s=09

⑤ゼレンスキーはどういうつもりか?(2024年8月28日)

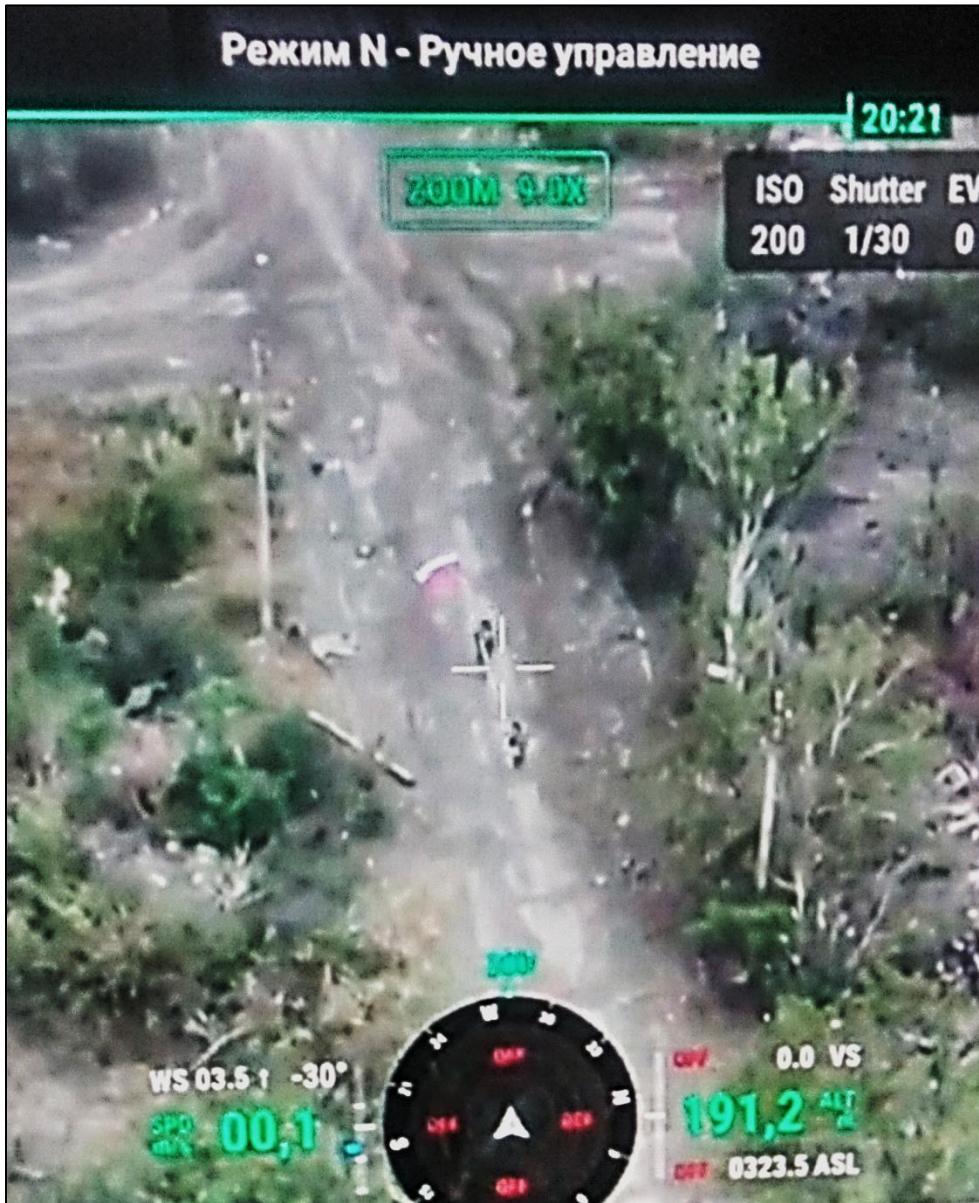


<https://x.com/Mari21Sofi/status/1828578904799617233?s=09>

⑥ウグレダール方面からビッグニュース(2024年8月28日)

□ シア軍第 57 自動車化ライフル連隊第 1 電動ライフル大隊が他の部隊の支援を受け、コンスタンチノフカを解放した。ロシア国旗が、コンスタンチノフカの西端に掲げられた。

<https://x.com/i/status/1828620765589311686>



<https://x.com/GyotokuShogi/status/1828620765589311686?s=09>

⑦メドベージェフのコメント(2024年8月28日)

特殊作戦は戦争戦術の概念をひっくり返し、軍事学全体を変えた、とメドベージェフ大統領は語った。

彼によると、特別軍事作戦が始まったとき、戦争戦術の概念は現在とはまったく異なっていたという。

ドミトリー・メドベージェフはまた、特別軍事作戦の目標は「前進」しているが、ロシアにはそれを達

成するためのすべてがあると述べた

<https://x.com/i/status/1828660333265006769>



<https://x.com/Z58633894/status/1828660333265006769?s=09>

⑧【8/10 ロシア・ウクライナ紛争】クレムリンからペンタゴンへの緊急電話の内容とクルスク越境攻撃 [https://www.youtube.com/@1paikai\(2024年8月10日\)](https://www.youtube.com/@1paikai(2024年8月10日))

中立の立場からロシア・ウクライナ紛争を見る。

今回は、プーチン大統領の暗殺未遂とロシア領内のクルスク地域への越境攻撃についてのお話です。

ベロウソフ国防大臣が、7/12に、ペンタゴンのオースティン国防長官に緊急の電話を掛けたことをお話申し上げました。その時は、電話の内容が何であったか一切公表されていませんでした。

ロシアの外務副大臣が、電話の内容は、7/30の海軍記念日にサンクトペテルブルクのパレードで演説する予定のプーチン大統領を、ウクライナの特殊部隊がドローン攻撃する準備していたと発言したのです。

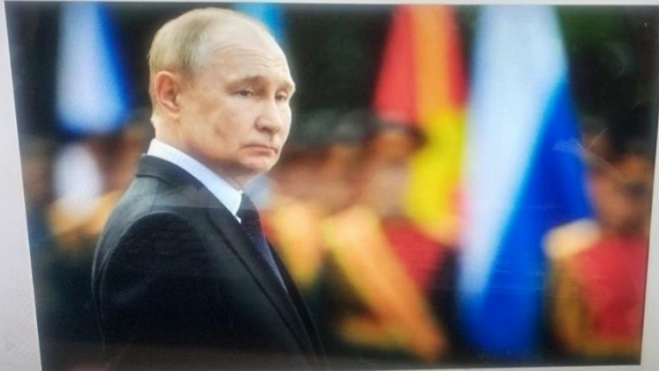
8/6にロシアのゲラシモフ参謀総長は、8月6日午前5時30分、ウクライナ軍の部隊、最大1000人が、クルスク地域の領土を奪うために攻勢に出た。クルスク地域での作戦は、2、3日で、ウクライナ軍は、押し出されるだろうと述べたという情報が流れました。

8/9午前1時現在のロシア側の大方の見方は、「ウクライナ軍の勝利は一時的で取るに足りないが、落ち着くまではあと数日かかる」というものに集約されそうです。

8/8、Bloombergは、「1,000人もウクライナ軍兵士によるクルスク地方への侵攻は、現在3日目で、ロシア軍を捕らえました。第二次世界大戦以来、他国の軍隊がロシアに侵攻したのは初めてのことです」と報じました。

<https://youtu.be/Ee3MFcqcpdA>

ウクライナのロシアへの突然の侵攻がブ
ーチンに形勢を逆転させる



アンソニー・ブルピン

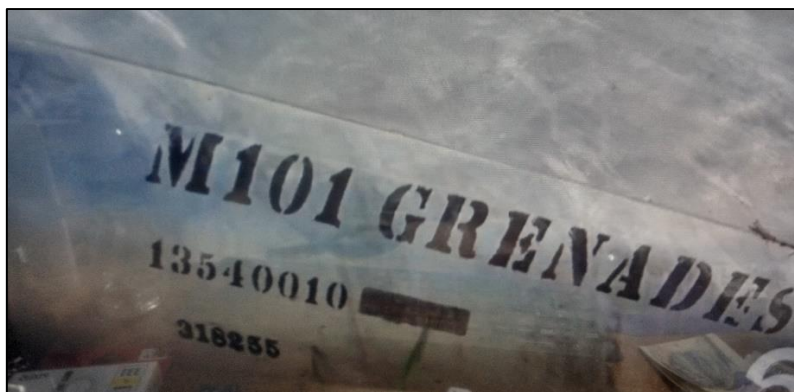
<https://www.youtube.com/watch?v=Ee3MFcqcpdA>

⑨クルスク原発に使われているのはアメリカのハイマース(2024年8月28日)

ロシア国家警備隊の技術者らは、クルスク原子力発電所近くでアメリカの HIMARS ミサイルからの不発クラスター弾を無力化した。

中には 180 発の不発子弾が入っていた。

<https://x.com/i/status/1828732994238194037>



<https://x.com/zov vs nato/status/1828732994238194037?s=09>

⑩ウクライナ最高司令官、クルスクの失敗を認める(2024年8月29日)



ウクライナ軍によるクルスク地方への侵攻は、ロシアに前線の重要なセクターから兵力を迂回させることを狙った高等戦術だったが、モスクワはその餌に乗らなかったと、ウクライナの最高司令官が認めた。

「クルスク方面での攻撃作戦の任務のひとつは、敵の大部隊を他の方面、とりわけポクロフスク方面とクラホフスク方面からそらすことだった」と、アレクサンドル・シルスキー大佐は火曜日にキエフで行われた記者会見で語った。

「もちろん、敵はこのことを理解しているので、最も戦闘可能な部隊が集中しているポクロフスク方面に主力を集中し続けている。」と彼は続けた。

「敵は他の方面から部隊を撤退させようとしているが、ポクロフスク方面では逆にその努力を強めている。」とシルスキー氏は主張し、ポクロフスクとクラホフスクの状況はウクライナ軍にとって「かなり困難」であると述べた。

ロシアのドネツク人民共和国西部に位置するポクロフスクとクラホフスクは、ドネツクとドニエプロペトロフスク、ザポロジエを結ぶ重要な補給道路上にある。ポクロフスクはウクライナ軍にとって主要な兵站拠点であり、2014 年以来、同軍は同市を厳重に要塞化している。ロシア軍はここ数週間、ポクロフスクへの激しい攻撃を続けており、アメリカ政府高官は月曜日、ロシア軍がポクロフスクに向けて「少しずつ前進」していることを認めた。

ウクライナ軍は 8 月 6 日にロシアのクルスク地方に侵攻し、2022 年 2 月の敵対行為勃発以来、国際的に承認されたロシア領土に対する最大の攻撃を行った。進撃はロシア軍によってすぐに食い止められたが、同地域での戦闘は続いており、ウクライナ軍は依然として国境地帯の多くの集落を保持している。

ロシア国防省の最新の数字によると、この侵攻によってウクライナは 6,600 人以上の軍人と 73 台の戦車、500 台以上の装甲車を失った。

ウクライナ指導部はクルスク作戦の目標について一貫して説明していない。当初、ウクライナの指導者ウラジーミル・ゼレンスキーの事務所は、ロシア領土の占領は、ロシア国民を威嚇し、最終的なモスク

ワとの和平交渉でより強い立場を得るために必要だと述べていた。

その後、ゼレンスキーは、ロシア領内に緩衝地帯を作り、クルスクと国境を接するウクライナのスミー州への攻撃をモスクワに命じさせないようにすることが目的だったと主張し、メッセージの内容が変化した。

しかし、匿名の情報筋が『エコノミスト』誌に語ったところによると、シルスキーは 8 月上旬に解任の危機に瀕しており、「自暴自棄」になってクルスク作戦を命じたという。ドンバスでの損失が膨らむ中、シルスキーの主な目的は「(ロシア軍を)ドンバスの掌握から引き離し、将来の交渉のための交渉材料を作ることだった」と英誌は先週報じている。

<https://eritokyo.jp/independent/Ukraines-war-situation-aow5616.htm>